



下境っ子

直方市立下境小学校
校長 塩田 朋久

最上級生に向けて・・・自然教室

5年生は、1日(金)・2日(土)と国立夜須青少年自然の家へ自然教室に行ってきました。5年生のめあては【「気づき・考え・行動する」】でした。

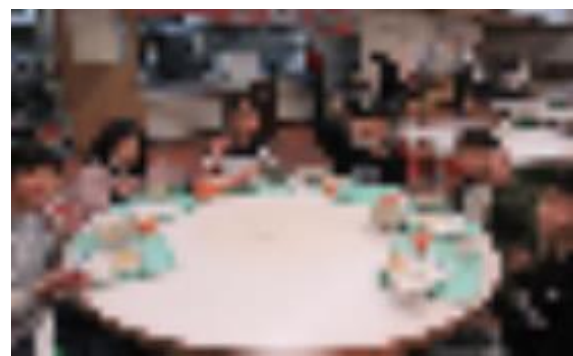
運動会が終わり、一人一人が役割を担い、新たなめあてに向けて準備してきました。自然教室は多くの学校が5年生対象で実施します。宿泊を伴う集団生活を行い、時間、礼儀、協力、そして臨機応変な行動力を高めていき、きたる最上級生へのステップとなるのです。

あいにくの天気でしたが、館内ビンゴやキャンドルのつどい、野外炊飯などの活動で、子どもたちはお互いに声を掛け合い、協力する姿がたくさん見られ、とっても楽しく活動できていました。もちろん、教師に頼らず「自分たちで考えて行動する」ことを大切にしていたので、失敗もたくさんあったと思います。できたこと、もっとがんばらなければならないことを振り返り、課題を克服しながら最上級生に向かってほしいと思います。



【振り返りより】

・野外炊飯で、当たり前のことと当たり前じゃないことに気づきました。当たり前じゃないことは、毎日、おうちの人のご飯を作っているけど、野外炊飯をして当たり前じゃないんだ(大変なこと)と気づきました。当たり前前のことは、友だちとみんなで協力してカレーを作ることです。協力しないと一人では作れないから、協力の大切さが分かりました。



・(これから)当たり前にしていくことは、いつもお母さんやお父さんがしていることを自分たちでやっていくことです。日常生活で当たり前と思っていたこと・・・大人の人がいつも助けてくれていることがこの自然教室で分かりました。大人の人がやっていることは簡単そうで実はそうじゃないことも分かりました。

性教育講演会より

12日(火)に4年生～6年生を対象に、谷川彩莉(たにがわ あいり)さんを招いて講演をしていただきました。谷川さんは女性として生まれましたが、成長するにつれ心と体のバランスに違和感を感じ、そのことで様々な葛藤を経験されてきました。生きてきた中で、周囲から理解が得られず苦しんでこられました。よき理解者との出会いを通じて「ありのままの自分でいいんだ」と自分を受け入れるとともに、「自分らしさ」の大切さを全国各地で広めておられます。「多様性の時代」といわれますが、お話を聞いて、やはり「人を思いやる心」が第一だと思いました。子どもたちも「性」についてしっかり考える機会になりました。

